

- 問1 富山県は、年間降水量が約2374mmと全国平均（約1662mm）を大きく上回り、周囲を標高の高い山々に囲まれています。このような自然条件が、電力消費の激しいアルミニウム工業の発展にどのようにつながったか、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
- 急峻な地形と豊富な雪解け水を利用した水力発電により、安価な電力が得られたため
 - 山間部でアルミニウムの原料となるボーキサイトが大量に採掘され、輸送コストが抑えられたため
 - 日本海沿岸の港を通じて、海外から安価な石炭を輸入し大規模な火力発電を行ったため
 - 冬の積雪による低温環境を利用して、工場内の精密機械の冷却コストを大幅に削減できたため
- 問2 愛知県の製造品出荷額の内訳を見ると、軽工業や化学工業に比べて重工業の割合が非常に高いことが分かります。このような産業構造が形成され、長年にわたり愛知県が工業出荷額日本一を維持している主な理由として適切なものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- 自動車を中心とする輸送用機械などの組み立て産業と、その関連企業が県内に集中しているため
 - 時計やカメラなどの付加価値が高い精密機械工業が、県内全域で均等に発展しているため
 - 製鉄所や石油化学コンビナートが海岸沿いに集中し、原材料の輸出を主目的としているため
 - 伝統的な繊維工業が近代化し、化学繊維から最先端のプラスチック製品製造へ移行したため
- 問3 北陸新幹線の延伸・開業のように、大都市と地方を結ぶ交通網が発達した際、その地域の観光産業に与える影響を説明したものとして正しいものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 交通網の整備により、地方の特産品がすべて都市部で生産されるようになる。
 - 地域固有の景観よりも、駅周辺の近代的なビル開発のみが観光の目的となる。
 - 移動時間の短縮により、日帰り可能な圏が拡大し、新たな観光需要が創出される。
 - 新幹線は貨物輸送を優先するため、観光客の移動手段としては限定的な役割になる。
- 問4 愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
- 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業
 - 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業
 - 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
 - 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業
- 問5 山梨県の甲府盆地周辺では、ぶどうや桃などの果樹栽培が全国的にも有名です。このように盆地において果樹栽培が発達した理由を、地形的・気候的な背景から説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- 盆地の平坦な中央部は保水力が非常に高く、常に湿潤な気候が保たれるため果実の成長に有利だから。
 - 盆地は標高が高いため夏でも冷涼であり、害虫の発生が少ないことから大規模な果樹園を作りやすいから。
 - 盆地の縁に形成された扇状地は水はけが良く、内陸のため降水量が比較的少なく日照時間が長いから。
 - 盆地特有の地形によって季節風が遮られ、年間を通じて温暖で多雨な気候が維持されるから。
- 問6 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
- 海岸平野
 - 三角州
 - 砂州
 - リアス海岸
- 問7 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 中央高地の気候
 - 南西諸島の気候
 - 北海道の気候
 - 瀬戸内の気候
- 問8 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
- パルプ・紙工業
 - 窯業・土石製品工業
 - 非鉄金属工業
 - 食料品工業
- 問9 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- 米
 - キャベツやレタスなどの野菜
 - 豚や鶏などの畜産物
 - ブドウやモモなどの果実
- 問10 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- 暖流である対馬海流の影響を受け、冬でも湿った空気が流れ込みやすいため
 - 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため
 - 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため
 - 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起こりにくいから
- 問11 ある県の工業統計を確認すると、製造品出荷額において「輸送用機械器具」が26兆円を超え、圧倒的な規模を誇っています。この県に関する説明として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
- 内陸部に位置し、涼しい気候を利用した野菜・果実栽培が盛んな長野県である。
 - 日本海側に位置し、米の産出額が農業全体の約6割を占める新潟県である。
 - 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。
 - 京浜工業地帯の一部をなし、精密機械の出荷額が国内最大級である長野県である。
- 問12 日本の農産物の生産統計において、茶の生産量が第2位の鹿児島県、第3位の三重県を抑えて全国第1位（2019年時点）となっている県名と、その県で大規模な茶園が営まれている代表的な台地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）
- 京都府 — 宇治
 - 静岡県 — 牧之原
 - 鹿児島県 — シラス台地
 - 福岡県 — 八女
- 問13 長野県を中心に位置し、3000メートル級の険しい山々が連なることから「日本の屋根」とも称される、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈を合わせた総称を選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
- 越後山脈
 - 奥羽山脈
 - 日本アルプス
 - 中国山脈

答え合わせ・解説

問1	答え 1 急峻な地形と豊富な雪解け水を利用した水力発電により、安価な電力が得られたため	富山県は飛騨山脈などの高い山々に囲まれ、急流河川が多いという地形的特徴があります。加えて、冬の積雪による豊富な雪解け水や高い降水量によって、水力発電に適した環境が整っています。アルミニウムの精錬には膨大な電力が必要とされるため、水力発電による安価で豊富な電力を得られる富山県で工業が発達しました。
問2	答え 1 自動車を中心とする輸送用機械などの組み立て産業と、その関連企業が県内に集中しているため	愛知県の工業は、世界的な規模を持つ自動車メーカーとその部品を製造する数多くの関連企業が密接に連携していることが最大の特徴です。この強固なピラミッド型の産業構造によって、輸送用機械などの重工業の割合が極めて高くなっており、中京工業地帯が日本最大の工業地帯として発展する原動力となっています。
問3	答え 3 移動時間の短縮により、日帰り可能な圏内が拡大し、新たな観光需要が創出される。	交通網の整備、特に新幹線の開業は、時間距離（移動にかかる時間）を短縮させます。富山や金沢のように東京から2時間台で結ばれるようになると、滞在時間が増えるだけでなく、日帰り旅行も可能になるなど、旅行者の選択肢が広がります。これにより、地方自治体は歴史的な街並みや食文化といった既存の観光資源をさらに活用して、観光客を誘致する取り組みを強める傾向にあります。
問4	答え 3 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業	愛知県では高度経済成長期以降、産業構造が大きく変化しました。1960年頃はせんい工業などの軽工業も一定の割合を占めていましたが、その後、豊田市周辺を中心に自動車産業（輸送用機械）が圧倒的な成長を遂げました。その結果、事業所の集約化が進み数は減ったものの、機械工業の生産性が飛躍的に向上したことで、製造品出荷額は30兆円を大きく超える規模に達しています。
問5	答え 3 盆地の縁に形成された扇状地は水はけが良く、内陸のため降水量が比較的少なく日照時間が長いから。	盆地の周辺部には、川が山地から平地に流れ出る際に土砂が堆積してできた「扇状地」が広がっています。扇状地は砂や礫（小石）でできているため非常に水はけが良く、稲作よりも果樹栽培に適しています。また、周囲の山々が湿った空気を遮るため、内陸にある盆地は雨が少なく、果実の甘みを増すために必要な日照時間が十分に確保できるという気候的利点があります。
問6	答え 4 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問7	答え 1 中央高地の気候	山梨県の甲府盆地や長野県の長野盆地などは、季節風の影響を直接受けにくい内陸に位置しているため、他の地域と比較して降水量が少なくなります。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、夏は日中の気温が非常に高くなる盆地特有の性質を持っています。
問8	答え 4 食料品工業	名古屋市のような大都市の工業構成では、多くの人口を抱える「大消費地」に近い利点を活かした、消費地立地型の工業が発達する傾向があります。出荷額の14%を占める食料品工業は、パンや菓子、飲料など、都市住民の生活に密着した製品を迅速に供給するために、都市近郊や都市内部に工場が置かれる典型的な事例です。なお、非鉄金属は約8%であり、食料品工業に次ぐ主要な構成要素となっています。
問9	答え 1 米	北陸地方に位置する新潟県、富山県、石川県、福井県は、広大な平野と豊富な雪解け水を利用した稲作が非常に盛んな地域です。そのため、中部地方の中でもこれらの県は農業産出額に占める米の割合が極めて高く、上位品目の多様性が他の県に比べて低いという対照的な構造を持っています。
問10	答え 2 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため	太平洋側の気候が冬に温暖なのは、沿岸を流れる暖流の黒潮が空気の温度を下げにくくしていることや、冷たい北西の季節風が険しい山脈（日本アルプスなど）に遮られ、乾燥した暖かい風として吹き降ろしてくることが主な要因です。対照的に、日本海側では暖流の対馬海流の影響で雪が降りやすくなります。
問11	答え 3 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。	製造品出荷額のうち輸送用機械が26兆円を超えるというデータは、日本最大の自動車産業の集積地である愛知県の特徴を強く示しています。愛知県は農業においてもキャベツなどの生産が盛んですが、工業の規模が極めて大きいため、米の産出割合が極めて高い新潟県や、野菜・果実の比率が高い長野県といった農業的特徴が強い県との識別の決定打となります。
問12	答え 2 静岡県 ― 牧之原	静岡県は日本一の茶の生産量を誇る県であり、県内には牧之原や磐田原といった大規模な台地が広がっています。これらの地域では機械化された大規模な茶の栽培が行われており、日本の茶供給の中心的役割を担っています。
問13	答え 3 日本アルプス	中部地方の長野県・岐阜県・富山県・山梨県などにまたがる飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、その険しさからヨーロッパのアルプス山脈になぞらえて「日本アルプス」と呼ばれます。越後山脈は新潟県と福島県などの境に、奥羽山脈は東北地方の中央に位置する山脈です。

- 問1 愛知県瀬戸市周辺では、伝統的な陶磁器の製造技術を応用して、IC（集積回路）の基板や自動車部品、医療用材料などに使われる高度な工業製品が生産されています。伝統産業から発展したこの新しい材料を何と呼びますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. ファインセラミックス 2. 炭素繊維 3. 合成ゴム 4. シリコンウェハー
- 問2 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 精密機械工業 2. 金属加工業 3. 繊維工業 4. 製紙・パルプ工業
- 問3 中部地方の日本海側に位置し、能登半島を擁する石川県では、冬の積雪期間が長いといった気候条件もあり、古くから農家の副業として様々な手工業が発達しました。この地域で生産される、落ち着いた色使いや写実的な草花模様を特徴とする伝統的な染物の名称として適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 加賀友禅 2. 西陣織 3. 博多織 4. 江戸小紋
- 問4 静岡県の産業構造に関する記述として、統計的な特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 県庁所在地に多くの大学が集中しており、サービス業の割合が製造業を大きく上回っている。
2. 鉄鋼業や石油化学コンビナートが産業の中心であり、製造品出荷額の大部分を基礎素材産業が占めている。
3. 輸送用機械などの製造品出荷額が大きく、茶の生産に加えてキャベツなどの園芸農業も盛んである。
4. 日本海側に位置する地理的条件を活かし、冬の積雪を水源とした稲作と、酒造などの食品工業が中心である。
- 問5 岐阜県の白川郷や富山県の五箇山で見られる、厚い茅葺き屋根を急な角度で組み合わせた「合掌造り」と呼ばれる伝統的な民家は、この地域のどのような自然環境に対応するために作られましたか。最も適切な理由を選びなさい。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 冬の積雪の重みによって家屋が倒壊するのを防ぎ、雪下ろしの負担を軽減するため
2. 台風による強風の圧力を受け流し、屋根が吹き飛ばされるのを防ぐため
3. 夏に発生する激しい上昇気流による雨が、屋根に溜まって腐食するのを防ぐため
4. 火山灰が屋根に堆積して家が押しつぶされるのを防ぐため
- 問6 中部地方の都市の降水量を示した統計において、他の都市と比較して年間を通じて降水量が少なく、グラフの数値が常に低くなる傾向にある都市とその地理的要因の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 浜松市：沿岸部に位置し、海風が常に強く吹いているため雲が発達しにくいから
2. 長野市：山々に囲まれた内陸の盆地に位置し、海からの湿った空気が入り込みにくいから
3. 静岡市：太平洋側に位置し、冬の時期に晴天の日が多く、空気が極端に乾燥するため
4. 金沢市：日本海側に位置し、冬の季節風が山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため
- 問7 日本の地方区分を、総人口を横軸に、1平方キロメートルあたりの人口密度を縦軸にとった散布図で比較したとき、人口が約2100万人、人口密度が約300人という数値を示し、グラフの中央付近に位置する地方はどこですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. 近畿地方 2. 九州地方 3. 東北地方 4. 中部地方
- 問8 福井県南部の若狭湾で見られる、山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで形成された複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。また、その地形の利点を踏まえて答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. カルデラ 2. 砂州 3. 三角州 4. リアス海岸
- 問9 長野県、岐阜県、富山県にまたがり、標高3000メートル級の険しい山々が連なる山脈について、通称「北アルプス」とも呼ばれる名称として正しいものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 飛騨山脈 2. 木曽山脈 3. 赤石山脈 4. 日高山脈
- 問10 中部地方の9県（新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知）における、産業分類と2017年の就業者数の特徴について述べた文として適切なものはどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 林業は建設業とともに第2次産業に分類され、愛知県では製造業の発展により第2次産業の就業者数が第3次産業の就業者数を上回っている。
2. 林業はサービス業と同じ第3次産業に分類され、山梨県や長野県などの高原野菜の産地では、第1次産業の就業者数が第3次産業の就業者数を上回っている。
3. 林業は第1次産業に分類されるが、中部地方の中で第2次産業に従事する就業者数が最も多いのは富山県であり、伝統工芸が地域の雇用を支えている。
4. 林業は第1次産業に分類され、2017年の中部地方9県における第3次産業就業者数は合計で600万人を超えており、すべての県で第3次産業の割合が最も高い。
- 問11 日本の交通網の大動脈である東海道新幹線の路線において、静岡県から西へ進み、岐阜県に到達する直前に通過する、中京工業地帯の中心地を含む都道府県はどこですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 愛知県 2. 滋賀県 3. 三重県 4. 長野県
- 問12 北陸地方の地図上の形状を確認すると、日本海に向かって北側に「能登半島」が大きく突き出している特徴的な地形が見られます。この半島を有する県はどこですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
1. 福井県 2. 石川県 3. 新潟県 4. 富山県
- 問13 日本の都道府県別統計において、花の「きく」の出荷量が全国シェア28.7%で第1位であり、さらに自動車などの「輸送用機械器具」の出荷額でも全国シェア35.5%で第1位を占めている、中部地方の県はどこですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 沖縄県 2. 愛知県 3. 神奈川県 4. 静岡県
- 問14 中部地方の福井県に関する統計において、総人口約717,000人のうち65歳以上の人口が約29%を占め、さらに県土の大部分が人口減少の著しい地域として指定されています。このように、人口の減少と高齢化が進行し、防災や医療といった住民の生活機能の維持が困難になっている地域を何と呼びますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 限界集落 2. 地方分権推進地域 3. 過疎地域 4. 近郊農業地域

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ファインセラミックス	陶磁器の原料を精製し、焼き固める伝統技術を高度化させることで、熱や摩耗に強く、電気を通しにくいなどの性質を持つファインセラミックスが開発されました。瀬戸市や近隣の多治見市などでは、この技術を活かした先端産業が盛んです。
問2	答え 4 製紙・パルプ工業	紙の製造工程では、原料の洗浄やパルプの希釈、冷却などのために大量の清浄な水を必要とします。静岡県は富士山からの豊かな湧水や河川水が得られるという地理的条件に恵まれていたため、古くからこの工業が発達し、日本一の出荷額を維持しています。
問3	答え 1 加賀友禅	石川県（金沢市周辺）で受け継がれている伝統的工芸品は加賀友禅です。北陸地方では冬の農閑期の副業として、こうした高度な技術を要する産業が発達しました。選択肢にある西陣織は京都府、博多織は福岡県、江戸小紋は東京都の伝統産業であり、それぞれの地域の歴史的背景に基づいています。
問4	答え 3 輸送用機械などの製造品出荷額が大きく、茶の生産に加えてキャベツなどの園芸農業も盛んである。	静岡県は東海道という日本の大動脈に位置しており、輸送用機械を中心とした加工組立型の工業が極めて盛んです。同時に、温暖な気候と大消費地に近い立地から、茶だけでなくキャベツなどの近郊農業も全国有数の規模で行われています。他の選択肢は、三重県（石油化学）、新潟県（日本海側の稲作）、あるいは愛知県のような大都市圏の特徴を述べています。
問5	答え 1 冬の積雪の重みによって家屋が倒壊するのを防ぎ、雪下ろしの負担を軽減するため	岐阜県や富山県の山間部は日本有数の豪雪地帯です。水分を含んだ重い雪が屋根に大量に積ると、その重みで家が倒壊する恐れがあります。そのため、屋根の傾斜を45度から60度という非常に急な角度に設計することで、雪が自然に滑り落ちやすくする工夫がなされています。また、この急傾斜によって生まれた広い屋根裏空間は、かつて養蚕（蚕を飼うこと）の作業場としても利用されていました。
問6	答え 2 長野市：山々に囲まれた内陸の盆地に位置し、海からの湿った空気が入り込みにくい	長野市は内陸の盆地に位置しており、周囲を高い山々に囲まれています。海からの湿った空気がこれらの山々を越える際に雨や雪として水分を落としてしまうため、盆地内部には湿った空気が届きにくくなります。その結果、太平洋側の静岡市や日本海側の金沢市と比べて、年間を通じて降水量が少ない「中央高地の気候」の特徴を示します。
問7	答え 4 中部地方	日本の統計において、人口が約2100万人、人口密度が1平方キロメートルあたり約300人という規模を持つのは中部地方です。東北地方はこれよりも人口密度が低く、近畿地方は人口密度がより高い位置に分布するため、中部地方は日本の地方区分の中でも中間的な統計数値を示す特徴があります。
問8	答え 4 リアス海岸	若狭湾は、リアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線を持っており、波が穏やかな入り江が形成されやすいため、天然の良港として漁業や船舶の避難場所などに利用されてきました。福井県から京都府にかけての海岸線にこの特徴が強く見られます。
問9	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には標高の高い山脈がそびえており、そのうち最も北側に位置する飛騨山脈は「北アルプス」と称されます。これに木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）を合わせた3つの山脈が、日本の屋根とも呼ばれる日本アルプスを構成しています。
問10	答え 4 林業は第1次産業に分類され、2017年の中部地方9県における第3次産業就業者数は合計で600万人を超えており、すべての県で第3次産業の割合が最も高い。	産業の分類において、自然界から資源を直接採取する林業は、農業や漁業と同じ第1次産業に該当します。中部地方は製造業が盛んな地域として知られていますが、就業構造のサービス化が進んだ現代においては、卸売・小売業やサービス業などを含む第3次産業の割合が最も高くなっています。2017年の統計では、愛知県の総就業者数が約407万人と突出しており、中部地方全体での第3次産業就業者数は600万人を超える規模に達しています。
問11	答え 1 愛知県	東海道新幹線は、東京都から神奈川県、静岡県を経て愛知県に入り、その後、岐阜県、滋賀県、京都府を通して大阪府へと至ります。愛知県は静岡県と岐阜県の間に位置しており、県内には豊橋、三河安城、名古屋の3つの新幹線停車駅が存在します。
問12	答え 2 石川県	北陸地方の中央部に位置する石川県は、北部に日本海へ突き出た能登半島、南部に加賀平野が広がる加賀地方という2つの地域から構成されています。この独特な形状は、中部地方の日本海側の地理的特徴を捉える際の大きな目印となります。
問13	答え 2 愛知県	愛知県は、中京工業地帯の中核として自動車関連の製造業が極めて盛んであり、輸送用機械器具の出荷額では2位の静岡県や3位の神奈川県を大きく引き離して全国1位を維持しています。また、農業面でも渥美半島などを中心に施設園芸農業が発達しており、電照菊などの「きく」の栽培において、2位の沖縄県や3位の鹿児島県を抑えて出荷量日本一となっています。工業だけでなく農業も全国トップクラスの規模を持つのがこの県の特徴です。
問14	答え 3 過疎地域	人口が急激に減少し、生活サービスやコミュニティの維持が困難になった地域を「過疎地域」と呼びます。福井県のように、高齢者人口の割合（高齢化率）が高く、広大な面積が過疎地域に指定されている県では、交通網の整備や医療福祉の確保が重要な政治課題となります。「限界集落」は過疎地域内などでさらに高齢化が進み共同体の維持が限界に達した集落を指す言葉であり、制度的な地域指定としては「過疎地域」が適切です。

- 問1 富山ライトレール（LRT）の導入による人々の移動手段の変化について、利用者の構成に着目した記述として正しいものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 以前は自転車を利用していた層が急増した一方で、旧JR富山港線を利用していただた多くの鉄道の利用をやめてしまった。
 2. 旧JR富山港線の利用者のみが継続して利用しており、車社会から公共交通への転換という目標は達成されていない。
 3. 以前はバスを利用していた人々がすべて自家用車での移動に切り替えたため、鉄道の利用者は旧JR時代よりも大幅に減少した。
 4. 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していただ層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。
- 問2 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
 2. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
 3. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発達し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。
 4. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集積的に立地している。
- 問3 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 新潟県
 2. 宮崎県
 3. 静岡県
 4. 北海道
- 問4 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
1. 木曽山脈
 2. 飛騨山脈
 3. 赤石山脈
 4. 越後山脈
- 問5 愛知県の名古屋市を中心とした地域に広がり、日本の工業地帯・地域の中で製造品出荷額が最も多い工業地帯として適切な名称を選びなさい。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯
 2. 阪神工業地帯
 3. 北九州工業地域
 4. 京浜工業地帯
- 問6 ある県の社会統計について、人口密度が1平方キロメートルあたり369.6人と比較的高く、産業別就業者割合において第3次産業が約74%を占め、さらに昼間人口が夜間人口を上回る都市的な特徴を持つ県はどこですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
1. 埼玉県
 2. 北海道
 3. 山口県
 4. 愛知県
- 問7 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 豚や鶏などの畜産物
 2. 米
 3. ブドウやモモなどの果実
 4. キャベツやレタスなどの野菜
- 問8 中部地方の農業について、東海地方で盛んに行われている農業の特色と、その代表的な生産地である半島名の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）
1. 房総半島における施設園芸農業
 2. 渥美半島における施設園芸農業
 3. 渥美半島における米の二期作
 4. 能登半島における果樹栽培と酪農
- 問9 日本アルプスなどの高い山々に囲まれた中央高地の盆地では、他の地域と比較して「ため池」が多く見られます。この地域でため池の利用が発達した理由について、地形と気候の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。
 2. 内陸部で夏の気温が非常に高くなるため、土壌に含まれる水分が蒸発しやすく、常に大量の散水が必要のため。
 3. 標高が高いため冬の寒さが厳しく、河川の大部分が凍結して農業用水の取り入れが困難になるため。
 4. 山地からの急斜面が多く、降った雨がすぐに海へ流れ出てしまい、地下水が全く蓄えられないため。
- 問10 急峻な山々に挟まれ、木曽川が北東から南西へと流れる谷底のわずかな平地に、集落や鉄道、道路が密集している地域があります。江戸時代、この場所には「福島関所」が置かれ、山岳地帯を通る主要な交通路の要所となっていました。この街道の名称として正しいものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 東海道
 2. 日光街道
 3. 甲州街道
 4. 中山道
- 問11 北陸地方における「冬の気候」と「人々の生活」の関係について述べた文として、正しいものを選びなさい。なお、福井市の統計では冬の降水量が多く、農業暦では冬に農作業の記録がないことを前提とします。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 冬の間は都市部へ出稼ぎに行くことが禁止されたため、独自の文化が途絶えた
 2. 冬の厳しい寒さを利用して、農作物の二毛作を全国に先駆けて行った
 3. 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた
 4. 雪解け水による豊かな水資源を、大規模な工業用水としてのみ利用した
- 問12 富山県の製造品出荷額等の割合を示した統計資料を確認すると、全国と比較して「化学」と「非鉄金属」の割合が非常に高いという特徴が見られます。この統計結果から読み取れる富山県の工業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯の一部として、自動車部品や工作機械などの輸送用機械の生産に特化している。
 2. 伝統的な売薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。
 3. 臨海部に大規模な製鉄所と石油コンビナートが立ち並び、重化学工業の出荷額の大半を占めている。
 4. 原料を海外から輸入しやすい立地条件を活かし、輸入した原油を精製する石油化学工業が中心となっている。
- 問13 山梨県で行われている、捕獲したシカを「ジビエ」として活用する取り組みの目的として、その背景や効果を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）
1. 観光客が野生のシカと触れ合える場所を増やすことで、富士山麓の観光収入を最大化させるため
 2. シカを家畜として大量に飼育し、海外へ輸出するための安定的な生産拠点を作り上げるため
 3. シカによる森林の食害を減らして自然環境を保護するとともに、捕獲した個体を有効活用して地域振興につなげるため
 4. 野生動物の捕獲のみを目的とし、森林を伐採して住宅地や工業団地を造成しやすくするため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用して いた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。	富山ライトレールの利用者構成を調査したデータによると、以前から鉄道（JR）を利用していた人は全体の半数に満たない46.8%です。残りの約半数は、以前は自家用車で移動していた人や、新しくその路線を使い始めた人、あるいは徒歩・自転車から切り替えた人たちです。特に自家用車や新規層が合計で3割以上を占めていることは、JR富山港線を利用していなかった人が新たに鉄道を利用するようになったことを示しています。
問2	答え 4 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問3	答え 3 静岡県	この県は太平洋側に位置し、温暖な気候を利用した野菜の栽培が盛んで、農業産出額では米よりも野菜の割合が高いことが特徴です。また、輸送用機械などの工業が発達しており、製造品出荷額が非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も多いことから、日本屈指の工業県としての側面を持っています。
問4	答え 2 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問5	答え 1 中京工業地帯	名古屋市を中心としたこの工業地帯は、日本の製造品出荷額の約2割を占める日本最大の工業地帯です。豊田市を中心とした自動車産業の集積が大きな特徴であり、他の工業地帯と比較しても機械工業の割合が極めて高いことで知られています。
問6	答え 4 愛知県	愛知県は、名古屋市を中心に商業やサービス業といった第3次産業が高度に発達しており、就業者割合も非常に高くなっています。また、人口密度が全国平均と比べて高く、周辺地域から人口が流入する中核的な都市機能を持っていることが統計上の数値（昼間人口>夜間人口）から読み取れます。北海道や山口県は人口密度や産業構造が異なり、埼玉県は人口密度は高いものの、東京への通勤者が多いため昼間人口が夜間人口を下回る傾向にあります。
問7	答え 2 米	北陸地方に位置する新潟県、富山県、石川県、福井県は、広大な平野と豊富な雪解け水を利用した稲作が非常に盛んな地域です。そのため、中部地方の中でもこれらの県は農業産出額に占める米の割合が極めて高く、上位品目の多様性が他の県に比べて低いという対照的な構造を持っています。
問8	答え 2 渥美半島における施設園芸農業	愛知県の渥美半島では、太平洋側の温暖な気候を背景に、ビニールハウスや温室などの施設を活用して花や野菜を栽培する「施設園芸農業」が非常に盛んです。特に菊の成長を光で調節する電照菊の栽培は全国的に有名です。房総半島は千葉県（関東地方）に位置し、米の二期作はかつての高知県などで見られた形態です。また、能登半島は北陸地方に位置するため、東海地方の説明としては不適切です。
問9	答え 1 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。	中央高地の盆地では、夏は太平洋側から、冬は日本海側から吹く湿った季節風が、それぞれ周囲の山々を越える際に雨や雪を降らせます。山を越えて盆地側に吹き込む風は乾燥しているため、年間降水量が少なくなります。この気候的制約を克服し、農業用水を確保する手段としてため池が重要な役割を果たしています。
問10	答え 4 中山道	木曽路を通る中山道は、江戸と京都を結ぶ五街道の一つであり、山岳地帯を抜けるルートとして整備されました。木曽福島は、険しい地形によって道が限定されるため、交通の検問を行う関所を設置するのに最適な場所でした。この地域では、現代のJR中央本線や国道19号も木曽川沿いの谷底平野に沿って通っており、古くからの交通の要衝としての性格が引き継がれています。
問11	答え 3 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた	北陸地方では冬に雪が降り積もるため、物理的に稲作ができない時期が生じます。この期間を活用して、農家の人々が家の中で行う織物や加工品づくりなどの副業が発達しました。このように、厳しい自然環境に適応し、農閑期の労働力を有効に活用しようとしたことが、この地域の地場産業の成立条件となっています。
問12	答え 2 伝統的な売薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。	富山県の工業は、歴史的な背景を持つ医薬品（化学）と、地理的条件（水力発電）を活かしたアルミニウム（非鉄金属）の二つが大きな柱です。北部の重化学工業地帯を中心にこれらの産業が集積しており、他の工業地帯・地域とは異なる独自の産業構造を持っています。
問13	答え 3 シカによる森林の食害を減らして自然環境を保護するとともに、捕獲した個体を有効活用して地域振興につなげるため	単に野生動物を「駆除」するだけでは、処分のコストや担い手不足が課題となります。捕獲から「処理加工」「供給」「消費」という一連のサイクルを作ることで、シカによる食害から森林を守る（自然保護）と同時に、地域の特産品として新たな価値を生み出すことがこの仕組みの大きな目的です。これにより、環境保護と地域経済の両立を目指しています。

- 問1 富山ライトレールの開業前後における利用者数の変化について、JR時代の2005年とLRT導入後の2006年を比較した統計があります。この統計では、60代の利用者が260人から814人に、70代の利用者が164人から566人に増加したことが示されています。この変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 10代の利用者の増加割合が最も大きく、高齢者の増加率を大きく上回った。
 - 高齢者の利用者は増えたものの、JR時代と比較した伸び率は2倍未満にとどまった。
 - 50代の利用者が全ての年代の中で最も多くなり、利用者層の中心となった。
 - 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。
- 問2 静岡県において製紙・パルプ工業が全国有数の規模にまで発達した理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため
 - 海外から輸入した木材チップを加工するために、県内に大規模な製鉄所が隣接していたため
 - 古くから発達した織物機械の技術を応用し、高度な自動化が進んだため
 - 三方ヶ原などの台地において、原料となる木材の植林が大規模に行われたため
- 問3 日本の地方区分に関する説明として、中部地方の地理的特色を正しく述べているものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- 本州の西部に位置し、大阪府や京都府などの2府5県から構成される。
 - 本州の東部に位置し、東京都や埼玉県などの1都6県から構成される。
 - 本州の南西部に位置し、広島県や岡山県などの5県から構成される。
 - 本州の中央部に位置し、富山県や愛知県などの9県から構成される。
- 問4 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。
 - 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。
 - 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。
 - 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。
- 問5 石川県の伝統的工芸品である「九谷焼」と「輪島塗」の特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- 九谷焼は薄く透明感のあるガラス細工であり、輪島塗は竹を細かく編み込んで作られる丈夫な容器である。
 - 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。
 - 九谷焼は木目を生かした幾何学的な模様が特徴の木工品であり、輪島塗は熱帯の気候に適した通気性の良い織物である。
 - 九谷焼は鉄を主原料とした重厚な鋳物であり、輪島塗は和紙を何層にも重ねて作られる和傘である。
- 問6 日本の工業地帯の特色について述べた次の文のうち、愛知県付近の統計において、海岸線の長さが約678kmと比較的短く、大規模な長方形の埋立地を造成して工業用地を確保している地域に該当する名称はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- 中京工業地帯
 - 瀬戸内工業地域
 - 阪神工業地帯
 - 京浜工業地帯
- 問7 中京工業地帯の一角を担う四日市港の貿易に関する説明として、その輸出の背景や現状を正しく述べているものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 近畿地方の工業化を支える中心港であり、かつては鉄鋼の輸出が中心であったが、現在は原油の輸入のみに特化している。
 - 日本最大の輸出額を誇る港であり、主にアメリカ合衆国に向けて食料品や衣類などの生活物資を大量に輸出している。
 - 九州地方を代表する港として、自動車の輸出額が全国1位であり、東南アジア諸国との貿易が総額の半分以上を占めている。
 - 輸出額において国内有数の規模を誇り、自動車や半導体等製造装置などの高付加価値な工業製品を中国などの近隣諸国へ送る拠点となっている。
- 問8 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- 砂州
 - リアス海岸
 - 海岸平野
 - 三角州
- 問9 川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並び工業地域となった。
 - 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。
 - 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してきた水はけの悪い低地となっている。
 - 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。
- 問10 日本の7地方区分の一つである「中部地方」の位置関係や構成について、正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- 本州の西側に位置し、東側で中国・四国地方、西側で九州地方と隣接している。
 - 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。
 - 日本列島の北部に位置し、津軽海峡を隔てて北海道地方と向かい合っている。
 - 本州の東端に位置し、北側で東北地方、南側で関東地方と隣接している。
- 問11 北陸地方において伝統的工芸品が発達した要因を考える際、冬の気候に関連して空欄に当てはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「北陸地方では冬に（①）が多く、屋外での（②）が制限される。そのため、家の中での手作業による工芸品の製造が盛んになった。」 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- ①積雪量 ②農業
 - ①日照時間 ②漁業
 - ①風速 ②商業
 - ①降水量 ②牧畜
- 問12 日本の諸地域の産業において、気候条件が産業の成立に影響を与えた事例は多く見られます。福井市の気候統計において、冬の降水量が非常に多いという特徴に関連して、この地域で「眼鏡フレーム」などの精密な地場産業が発達した直接的な理由を説明したものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- 冬の低温多湿な環境が、金属を精密に加工する際の温度管理に適していたため。
 - 広大な農地を冬の間に工場用地として転用しやすく、大規模な生産体制を整えることが容易だったため。
 - 雪深い地域では人々の移動が制限されるため、村ごとに独自の工業製品を自給自足する必要があったため。
 - 積雪によって冬の農作業ができない時期に、農家の貴重な収入源として副業的な家内工業が推奨されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。	富山ライトレール（LRT）の導入による効果を年代別に分析すると、高齢者層の利用に劇的な変化が見られました。具体的には、60代の利用者が約3.1倍（260人から814人）、70代の利用者が約3.4倍（164人から566人）となっており、いずれも3倍を超える大幅な増加を記録しています。これは、公共交通の利便性向上やバリアフリー化が、高齢者の外出促進に大きく寄与したことを示しています。
問2	答え 1 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため	製紙・パルプ工業は「立地要因」として水資源の確保が非常に重要視される産業です。富士山のふもとに位置する富士市周辺は、豊富な地下水や河川水が容易に得られたことから、大規模な工場が集まり、静岡県を代表する産業へと成長しました。
問3	答え 4 本州の中央部に位置し、富山県や愛知県などの9県から構成される。	中部地方は本州の中央部に位置しており、富山県や愛知県をはじめとする9つの県で構成されています。関東地方（1都6県）や近畿地方（2府5県）などの隣接する地方区分と区別しておく必要があります。
問4	答え 3 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。	北陸地方は県ごとに発達している工業分野が異なります。新潟県では米どころとしての背景から食料品工業が発達しているほか、電子部品の製造も盛んです。富山県では、豊富な水資源と電力を背景に発展した薬品などの化学工業や、輸送用機械の割合が高いという特色があります。選択肢にある石油・石炭製品や印刷業は、この地域の主な特色とは言えません。
問5	答え 2 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。	石川県は、江戸時代に加賀藩が工芸を奨励した歴史的背景から、現在も多くの伝統的工芸品が受け継がれています。九谷焼は「呉須」と呼ばれる藍色の線と、赤・黄・緑・紫・紺青の五彩を用いた華やかな色彩が世界的に評価されています。輪島塗は、完成までに多くの工程を要する分業制が確立されており、特に布着せや下地の工夫によって非常に高い耐久性を備えているのが特徴です。
問6	答え 1 中京工業地帯	愛知県を中心とする中京工業地帯は、工業出荷額が日本一の工業地帯です。伊勢湾の沿岸部には大規模な埋立地が造成されており、そこには鉄鋼業や石油化学工業などの原料輸入に便利な重化学工業の工場が並んでいます。他の工業地帯と比較して、計画的に造成された大規模な埋立地が特徴的です。
問7	答え 4 輸出額において国内有数の規模を誇り、自動車や半導体等製造装置などの高付加価値な工業製品を中国などの近隣諸国へ送る拠点となっている。	四日市港は三重県に位置し、中京工業地帯の高度な製造業を支えています。輸出額が東京港に次ぐ水準にあるという事実は、この港が自動車や半導体関連といった日本の基幹産業の出口となっていることを示しています。輸出相手国が中国や韓国に集中しているのは、サプライチェーン（供給網）がアジア圏内で密接に構築されているためです。
問8	答え 2 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問9	答え 4 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。	川が山地から平地へ出たところに形成される扇状地は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下に浸透しやすい「水はけが良い」という性質を持っています。そのため、水が必要な稲作（水田）にはあまり向かず、果樹園や養蚕のための桑畑として利用されてきました。選択肢にある「川の最下流部」にできる地形は三角州であり、扇状地とは形成場所や性質が異なります。
問10	答え 2 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。	中部地方は、その名の通り日本（本州）の中央に位置しています。愛知県や長野県、新潟県などを含む広い範囲を指し、東は関東地方、西は近畿地方という大きな経済・文化圏に挟まれているのが地理的な大きな特徴です。
問11	答え 1 ①積雪量 ②農業	北陸地方の冬の最大の特徴は、世界的な豪雪地帯であるという点です。積雪によって農作業ができない「農閑期」が生まれることから、その期間を活用した産業として、絹織物や漆器、和紙といった高度な伝統的工芸が発達しました。
問12	答え 4 積雪によって冬の農作業ができない時期に、農家の貴重な収入源として副業的な家内工業が推奨されたため。	福井県などの北陸地方は日本海側気候に属し、冬は季節風の影響で雪が多く降ります。農作業ができない冬の間、人々は家の中でできる仕事（家内工業）を副業として行いました。こうした歴史的背景が、手先の器用さや技術の蓄積を生み、眼鏡フレームのような特定分野で高いシェアを誇る地場産業を育てる土壌となりました。

問1 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。
2. 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。
3. 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。
4. 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。

問2 本州の中央部には、標高3000m前後の高い山々が連なり、「日本の屋根」と称される山岳地帯があります。ここに含まれる3つの山脈のうち、最も南東側に位置する山脈の名称を選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈
2. 飛騨山脈
3. 越後山脈
4. 赤石山脈

問3 中部地方の自動車工業の特徴と、その発展を支えた地理的・経済的要因の説明として正しいものを次の中から選んでください。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. 水はけのよい台地が広がっており、広大な果樹園を工業団地へ転換することで用地不足を解決した。
2. 寒冷な気候を活かした精密機械工業が発展し、その技術を転用して電気自動車のみを専門に製造する地域となった。
3. 原材料をすべて海外からの輸入に頼るため、大型貨物機が発着できる空港の周辺に組み立て工場が集約された。
4. 製品の輸出に便利な大きな港が近くにあり、周辺にはエンジンやブレーキなどの部品を製造する工場が集積していた。

問4 北陸地方の地場産業や伝統的工芸品について述べた次の文のうち、歴史的背景や地理的特徴をふまえた正しい記述はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)

1. 江戸時代に藩の政策で職人が集められ、冬の農閑期を利用して技術が磨かれ継承されてきた
2. 稲作が向きな土地柄であったため、江戸時代から農業を完全に廃止して工業に特化してきた
3. 原材料をすべて海外からの輸入に頼ることで、大規模な貿易港をもつ都市を中心に発展した
4. 明治時代以降、雪の影響を避けるために地元の伝統的な工場はすべて太平洋側へ移転した

問5 富山市が、路面電車の軌道を環状化するなど公共交通の利便性を高める都市整備を行った背景にある、現代の日本が抱える課題に対応した街づくりの考え方を何というか。 (2024年 広島県公立入試 類似)

1. 工業地帯を中心市街地に誘致し、製造業を活性化させる「工業団地」の整備
2. すべての道路を高速道路と接続し、自動車の移動時間を短縮させる「車社会化」の徹底
3. 生活に必要な機能を公共交通沿線や中心部に集約させる「コンパクトシティ」の形成
4. 郊外の宅地開発を促進し、人口を分散させる「スプロール化」の推進

問6 北陸地方に位置する富山県では、輸送用機械などの製造に比べて非鉄金属工業の出荷額が目立つという特徴があります。この工業が富山県で発展した主な背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 人口が300万人を超える大規模な消費市場と労働力が確保されていたため。
2. 太平洋ベルトの東海工業地域に隣接しており、輸送の利便性が高いため。
3. 原料となる鉱産資源が豊富に産出され、内陸工業地域が形成されたため。
4. 急峻な地形を流れる河川を利用した、豊富な水と電力を得やすかったため。

問7 富山市では、旧JR富山港線を路面電車化（LRT化）したことで、公共交通の利便性が大幅に向上しました。運行状況の変化をみると、かつては30分から60分に1本程度だった運行間隔が、日中は15分、ラッシュ時には10分間隔へと短縮されました。このような運行サービスの改善がもたらした直接的な結果として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 1人あたりの輸送能力を高めるため、従来の車両よりも大型で定員の多い車両が導入された。
2. 運行本数を増やしたことで維持管理費が増大し、1人あたりの運賃が大幅に引き上げられた。
3. 運行効率を最優先した結果、駅の数的大幅に削減し、速達性を高めることで利用者が増加した。
4. 1日あたりの輸送人数が、LRT開業前の約2000人台から開業後は5000人台へと大幅に増加した。

問8 長野県の諏訪湖周辺に位置する諏訪盆地では、明治時代から昭和初期にかけて生糸の製造が盛んに行われていました。第二次世界大戦後、この地域では製糸業で培われた技術や労働力を活かして、時計やカメラなどを製造する特定の工業が発展しましたが、その工業の名称として最もふさわしいものを選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

1. 重化学工業
2. 精密機械工業
3. 自動車工業
4. せんい工業

問9 北陸地方の富山県において、アルミニウム工業が発達した理由として、この地域の自然環境とエネルギー源の関係について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 高い山々と豊富な降水量を活かした水力発電が、大量の電力を供給した
2. リアス海岸の入り組んだ地形を活かした原子力発電が、安定した電力を供給した
3. 森林資源から得られる木材を燃料としたバイオマス発電が、工場の熱源を供給した
4. 広大な平野部と日照時間を活かした太陽光発電が、クリーンな電力を供給した

問10 北陸新幹線の延伸開業が、石川県や富山県などの沿線地域に与えた地理的・社会的な影響の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

1. 首都圏との移動時間が大幅に短縮されたことで、観光客の増加やビジネスの活性化が進んだ。
2. 農産物の高速輸送が可能になったことで、北陸地方は日本最大の近郊農業地域へと変化した。
3. 太平洋側の工業地帯と直接結ばれたことで、内陸部に大規模な石油化学コンビナートが形成された。
4. 日本海側から太平洋側への人口流出を阻止するため、すべての特急列車が廃止され新幹線に一本化された。

問11 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 越後山脈
2. 木曽山脈
3. 赤石山脈
4. 飛騨山脈

問12 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適当なものとはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため
2. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため
3. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため
4. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、 富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。	北陸地方は県ごとに発達している工業分野が異なります。新潟県では米どころとしての背景から食料品工業が発達しているほか、電子部品の製造も盛んです。富山県では、豊富な水資源と電力を背景に発展した薬品などの化学工業や、輸送用機械の割合が高いという特色があります。選択肢にある石油・石炭製品や印刷業は、この地域の主な特色とは言えません。
問2	答え 4 赤石山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という3つの険しい山脈が並行して走っています。これらは総称して日本アルプスと呼ばれます。赤石山脈はその中で最も南に位置しており、別名「南アルプス」とも呼ばれる日本を代表する山脈の一つです。
問3	答え 4 製品の輸出に便利な大きな港が近くにあり、 周辺にはエンジンやブレーキなどの部品を製造する工場が集積していた。	中部地方の自動車工業は、名古屋港などの輸出に便利な港湾施設を備えていたことに加え、膨大な数の部品を供給する関連工場が組み立て工場の周辺に集積（ジャストインタイム生産方式など）していたことが大きな強みとなりました。これにより、輸送コストを抑えつつ効率的な大量生産が可能となりました。
問4	答え 1 江戸時代に藩の政策で職人が集められ、冬の 農閑期を利用して技術が磨かれ継承されてきた	北陸地方では、江戸時代初期に加賀藩などの藩主が産業振興のために各地から優れた職人を招き入れる政策をとりました。これが、冬の厳しい降雪期間に室内で行う手仕事と結びつき、現代まで続く輪島塗や加賀友禅、燕三条の金属加工といった地場産業の基盤となりました。また、北陸地方は日本有数の稲作地帯でもあり、農業と工業が密接に関わって発展してきたのが特徴です。
問5	答え 3 生活に必要な機能を公共交通沿線や中心部に 集約させる「コンパクトシティ」の形成	地方都市における人口減少や少子高齢化、郊外化による中心市街地の空洞化（シャッター通り化）といった課題に対し、富山市は「コンパクトシティ」を掲げた政策を行っています。路面電車の環状化は、高齢者や子どもなどの移動手段を確保し、中心部に人を呼び戻すことで、持続可能な都市を目指す重要な施策の一つです。
問6	答え 4 急峻な地形を流れる河川を利用した、豊富な 水と電力を得やすかったため。	富山県では、黒部川などの急流を利用した水力発電が盛んに行われてきました。非鉄金属工業、特にアルミニウムの精錬などは製造過程で大量の電力を消費するため、安価で豊富な電力を供給できる環境が整っていた富山県で、この産業が発展しました。
問7	答え 4 1日あたりの輸送人数が、LRT開業前の約200 0人台から開業後は5000人台へと大幅に増加 した。	旧JR富山港線からLRTへ移行した際、運行間隔の短縮や始発・終電時間の改善、さらに段差のない低床車両の導入といった利用者視点のサービス向上が行われました。この結果、2000年時点では1日約2000人台だった輸送人数が、2006年のLRT開業以降は5000人台へと倍増しました。これは、公共交通を軸とした「コンパクトなまちづくり」の成功例として知られています。
問8	答え 2 精密機械工業	諏訪盆地は、明治時代には器械製糸による生糸の生産が盛んな地域でした。戦後は、製糸業で培われた手先の器用な労働力や、内陸部特有の湿度が低く澄んだ空気、そして清らかな水といった環境条件が、微細な部品を組み立てる時計やカメラなどの製造に適していたため、精密機械工業が急速に発展しました。その様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。
問9	答え 1 高い山々と豊富な降水量を活かした水力発電 が、大量の電力を供給した	アルミニウムは「電気の缶詰」と呼ばれるほど、製造工程において多量の電力を消費します。富山県では、標高の高い山地からの急な傾斜と、全国5位（約2374mm）という極めて多い降水量・積雪量を活用した水力発電が古くから盛んでした。この安価な電力が供給されたことが、エネルギー多消費型産業であるアルミニウム工業が立地する最大の要因となりました。
問10	答え 1 首都圏との移動時間が大幅に短縮されたこと で、観光客の増加やビジネスの活性化が進ん だ。	北陸新幹線の開通により、かつては乗り継ぎが必要だった東京と北陸地方が直結されました。これにより時間距離が短縮され、金沢や富山といった都市への観光客が急増したほか、企業の支店設置が進むなど経済的な結びつきが強まりました。一方で、並行する在来線の経営分離などの課題も生じています。
問11	答え 4 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問12	答え 1 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工 業地域の一角を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。

- 問1 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。 | 2. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。 | 3. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。 | 4. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。 |
|---|--|---|--|
- 問2 中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 瀬戸内の気候 | 3. 中央高地の気候 | 4. 太平洋側の気候 |
|------------|-----------|------------|------------|
- 問3 日本の農業において、長野県などの高冷地で生産が盛んな「レタス」の生産・流通に関する記述として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大消費地である東京に隣接しているため、トラックによる短時間の輸送で鮮度を保って出荷される。 | 2. 冬の温暖な気候を利用した促成栽培により、暖房費用を抑えて冬から春に出荷される。 | 3. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培により、他の産地の出荷が減る時期に市場へ供給される。 | 4. 水はけの良い火山灰地が広がっているため、夏でも乾燥に強い品種として生産されている。 |
|--|--|---|--|
- 問4 本州の中央部に位置する内陸県の一つで、県の一部に飛騨山脈（北アルプス）などの峻険な山々が連なり、富山県の五箇山とともに「合掌造り集落」がユネスコの世界文化遺産に登録されている県はどこですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 群馬県 | 3. 山梨県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。 | 2. 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。 | 3. 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。 | 4. 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。 |
|--|---|---|---|
- 問6 石川県の伝統的工芸品である「九谷焼」と「輪島塗」の特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。 | 2. 九谷焼は木目を生かした幾何学的な模様が特徴の木工品であり、輪島塗は熱帯の気候に適した通気性の良い織物である。 | 3. 九谷焼は鉄を主原料とした重厚な鋳物であり、輪島塗は和紙を何層にも重ねて作られる和傘である。 | 4. 九谷焼は薄く透明感のあるガラス細工であり、輪島塗は竹を細かく編み込んで作られる丈夫な容器である。 |
|---|---|--|---|
- 問7 北陸地方など、冬にシベリア方面から吹き付ける冷たく湿った季節風の影響を強く受ける地域について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。なお、この地域では12月や1月の降水量が非常に多く、気温が0度近くまで下がることが統計で示されています。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。 | 2. 台風による被害を受けやすい時期と農作業が重なるため、風を防ぐための高い生垣を作る文化が発達した。 | 3. 冬は太平洋側からの季節風によって乾燥した晴天が続くため、大規模な灌漑施設の整備が発達した。 | 4. 夏に発生する冷害を避けるために、冬の間の積雪を保存して冷房として利用する産業が発達した。 |
|--|---|--|---|
- 問8 北陸地方のように、冬季に降水量が多く積雪が厳しい地域において、輪島塗や小千谷ちぢみといった伝統産業が発達した主な理由として適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 乾燥した冬の空気が、漆の乾燥や布の染色を定着させるのに最も適していたから。 | 2. 広大な森林から得られる豊富な木材を、冬の間にソリを使って容易に運び出せたから。 | 3. 冬の間は積雪によって農作業ができなため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。 | 4. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及し、機械による大量生産が容易だったから。 |
|--|--|--|--|
- 問9 中部地方の工業地域のうち、富山県などを含む北陸地方の工業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. かつては豊富な電力を利用した金属工業などが発達し、現在も化学工業や金属工業の割合が比較的高い。 | 2. 出荷額の大部分を輸送用機械が占めており、特に自動車の生産額が全国でも突出している。 | 3. 印刷業や食料品工業など、都市型工業の割合が他の工業地域よりも非常に高い。 | 4. 古くから繊維工業が盛んであったが、現在はバイオテクノロジーを用いた食料品製造が産業の9割を占める。 |
|--|--|---|--|
- 問10 北陸地方において日本海側に大きく突き出した能登半島の先端付近には、国の伝統的工芸品である「輪島塗」の産地があります。この産地が位置する都道府県はどれですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福井県 | 2. 新潟県 | 3. 石川県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 中部地方の地形の特徴を説明した文章として、飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈の3つの山脈の関係性が正しく述べられているものを選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 東北地方から続く奥羽山脈が長野県に入ると、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つに枝分かれする。 | 2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。 | 3. 飛騨山脈と越後山脈の間に赤石山脈が位置しており、これらは北アルプスと呼ばれている。 | 4. 木曽山脈と赤石山脈は関東地方に位置し、飛騨山脈だけが長野県に位置している。 |
|---|---|--|--|
- 問12 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 宮城県 | 3. 新潟県 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。	白馬村の観光統計によると、2015年から2019年にかけて全ての地域で外国人観光客の延べ宿泊者数が増加しています。特にオセアニア地域は約5万件から約17万件へと3.4倍近い急成長を遂げているのが最大の特徴です。ヨーロッパ地域については期間全体で見れば増加していますが、年によっては微減するなどの変動があるため「毎年連続して増加」という説明は不適切です。また、2015年の合計宿泊者数は15万人には達しておらず、計算ミスを誘う選択肢にも注意が必要です。
問2	答え 3 中央高地の気候	数値データを見ると、1月の平均気温が0度を下回る「氷点下」であることから、冬の寒さが厳しいことがわかります。また、1月の降水量が極めて少ない一方で、7月の降水量は1月の3倍以上になっており、「夏に雨が多く、冬に少ない」という内陸部特有の性質を示しています。これらは長野県などの標高が高い地域や盆地で見られる中央高地の気候の典型的な特徴です。日本海側の気候であれば、冬の降水量はもっと多くなります。
問3	答え 3 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培により、他の産地の出荷が減る時期に市場へ供給される。	長野県はレタスの生産量が日本一であり、その背景には標高1,000メートル前後の涼しい高原地帯が広がっていることが挙げられます。レタスは冷涼な気候を好むため、平地が猛暑となる時期に収穫できることが強みです。このように、時期をずらして市場に供給する「抑制栽培」の仕組みを正しく把握しておく必要があります。
問4	答え 4 岐阜県	中部地方の内陸県には、岐阜県、長野県、山梨県などがあります。このうち、飛騨山脈が県境に位置し、白川郷の合掌造り集落が世界文化遺産として登録されているのは岐阜県です。長野県も日本アルプスに面した内陸県ですが、合掌造りの世界遺産は所在しません。富山県は日本海に面しており、内陸県ではない点に注意が必要です。
問5	答え 4 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。	明治から大正時代にかけて、生糸は日本の重要な輸出商品でした。長野県は内陸の山間部に位置し、大規模な稲作が難しい土地も多かったため、傾斜地などでも栽培が可能な桑を植えて養蚕を行い、その繭から生糸をつくる製糸業が地域の基幹産業として大きく発展しました。この産業構造は、当時の土地利用を示す地図において「桑畑」の記号が極めて多いことから裏付けられます。
問6	答え 1 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。	石川県は、江戸時代に加賀藩が工芸を奨励した歴史的背景から、現在も多くの伝統的工芸品が受け継がれています。九谷焼は「呉須」と呼ばれる藍色の線と、赤・黄・緑・紫・紺青の五彩を用いた華やかな色彩が世界的に評価されています。輪島塗は、完成までに多くの工程を要する分業制が確立されており、特に布着せや下地の工夫によって非常に高い耐久性を備えているのが特徴です。
問7	答え 1 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。	日本海側の地域では、冬にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が日本海を渡る際、対馬海流の影響で水蒸気を多く含みます。これが日本の骨格をなす山脈にぶつかすることで、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって農作業ができないため、農家の貴重な現金収入を得る手段として、家の中で行う織物や漆器づくりなどの副業が盛んになり、現代の伝統的工芸品や地場産業の基礎となりました。
問8	答え 3 冬の間は積雪によって農作業ができないため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。	北陸地方などの豪雪地帯では、冬の間は田畑が雪に覆われて農業を行うことができません。そのため、農家の人々が冬の間は貴重な現金収入（副業）を得るために、家の中で行える手作業を発達させました。これが現代まで続く伝統的工芸品の基盤となっています。
問9	答え 1 かつては豊富な電力を利用した金属工業などが発達し、現在も化学工業や金属工業の割合が比較的高い。	北陸地方の工業は、日本海側の豊かな水資源を背景とした水力発電による電力を基盤に発展してきました。そのため、電力消費の多い化学や金属といった分野が強みを持っており、統計資料においてもこれらの分野が一定の割合を維持している点が、他の地域（輸送機械が強い東海地方など）との明確な違いとなります。
問10	答え 3 石川県	輪島塗は、石川県の能登半島にある輪島市で作られている有名な漆器です。能登半島は石川県の北部に位置し、日本海へ突き出しているのが特徴です。富山県や福井県も同じ北陸地方に位置しますが、輪島塗の産地ではありません。
問11	答え 2 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。	日本アルプスは長野県を中心に、岐阜県や山梨県、静岡県などにまたがって分布しています。北から飛騨、中央に木曽、南に赤石の順で並んでおり、これらはプレートの衝突による強い圧力によって隆起して形成されました。奥羽山脈は東北地方の山脈であり、越後山脈は新潟県方面の山脈であるため、日本アルプスには含まれません。
問12	答え 4 静岡県	この県は太平洋側に位置し、温暖な気候を利用した野菜の栽培が盛んで、農業産出額では米よりも野菜の割合が高いことが特徴です。また、輸送用機械などの工業が発達しており、製造品出荷額が非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も多いことから、日本屈指の工業県としての側面を持っています。

- 問1 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 砂州
 2. 海岸平野
 3. リアス海岸
 4. 三角州
- 問2 中部地方の内陸部に位置する「中央高地」の地形的特徴とその利用について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈に囲まれた盆地が点在し、山沿いの扇状地では果樹園が多く見られる
 2. 飛騨山脈などの火山が連なる高原地帯であり、水はけの悪い土地を利用して茶の栽培が盛んに行われている
 3. 赤石山脈から流れる川の河口付近に広がる広大な三角州を利用して、水はけのよさを活かしたブドウの栽培が行われている
 4. 日高山脈などの険しい山々に囲まれた盆地が多く、扇状地では機械化による大規模な米作りが行われている
- 問3 富山県で発生したイタイイタイ病をはじめとする四大公害病が社会問題となったことを背景に、1967年に制定された環境対策の基礎となる法律はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 環境基本法
 2. 公害対策基本法
 3. 資源有効利用促進法
 4. 男女共同参画社会基本法
- 問4 長野県などの標高が高い地域で生産される「高原野菜」が、東京や大阪などの大都市圏へ盛んに出荷されるようになった背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 大都市周辺の農地が不足したため、すべての野菜生産を遠隔地の山岳地帯に移転させる政策がとられたため。
 2. 海外からの輸入野菜に対抗するため、収穫した野菜をすべて乾燥加工してから出荷する技術が普及したため。
 3. 標高の高い地域は平地に比べて土地代が極端に安く、ビニールハウスを大量に設置して冬の出荷を増やすため。
 4. 高速道路などの交通網が整備され、保冷トラック（冷トラック）による迅速な輸送が可能になったため。
- 問5 山梨県などの盆地の周辺部に見られる扇状地において、古くからブドウやモモなどの果樹園として土地が利用されてきた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 火山灰が厚く降り積もっており、稲作には適さないから。
 2. 標高が非常に高く、夏でも冷涼な気候が続くから。
 3. 土砂の粒が大きく隙間が多いため、水はけが良いから。
 4. 河口に近いため、常に湿り気のある粘土質の土壌だから。
- 問6 東海道新幹線のルートを東京都から大阪府に向かって順番にたどったとき、滋賀県を通過した後に現れ、終点である大阪府の隣に位置する都道府県を答えなさい。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 奈良県
 2. 福井県
 3. 兵庫県
 4. 京都府
- 問7 中部地方の各県を、山脈やフォッサマグナなどの地形的特徴から分類した際、太平洋側に位置する県や北陸地方の県の中に、県名と県庁所在地の名称が異なるものが含まれます。これに該当する県名と、その県庁所在地の名称を正しく並べたものを選びなさい。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 石川県（輪島市）、愛知県（豊田市）、山梨県（富士吉田市）
 2. 石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）
 3. 長野県（松本市）、岐阜県（大垣市）、静岡県（浜松市）
 4. 新潟県（新潟市）、富山県（富山市）、福井県（福井市）
- 問8 中部地方の内陸部に位置し、周囲を高い山々に囲まれた松本市のような地域の気候について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 1月の気温が氷点下になるほど寒冷であるが、日本海からの湿った空気が直接流れ込むため、冬の降水量は沿岸部と同程度に多い
 2. 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する
 3. 暖流である黒潮の影響を強く受けるため、1月の平均気温が氷点下になることはなく、冬でも温暖で湿潤な気候である
 4. 周囲の山々が季節風を遮るため、冬は非常に乾燥して晴天が続くが、夏は梅雨や台風の影響で日本有数の多雨地帯となる
- 問9 日本の主な工業地帯の生産額を比較した統計において、製造品出荷額が約55兆円に達して日本第1位であり、その内訳の中で自動車などの機械工業が約7割という極めて高い割合を占めている工業地帯はどこですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯
 2. 中京工業地帯
 3. 阪神工業地帯
 4. 北九州工業地域
- 問10 北陸地方のある都市の統計において、十二月から二月にかけての降水量が月間三百五十ミリメートルを超えて突出して多く、同時期の気温が〇度近くまで低下するという特徴が見られます。このような気候条件を持つ地域で、古くから伝統的な工芸品の製造が発達した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 夏の期間に雨が少なく乾燥するため、農作業の代わりに伝統的な技術を用いた工業が発展したから。
 2. 台風による被害が多く、農作物の収穫が不安定だったため、安定した収入を求めて重化学工業が発達したから。
 3. 冬の積雪により屋外での農作業が困難になるため、屋内でできる手仕事が発展したから。
 4. 一年を通じて温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培と加工が冬場に効率よく行えたから。
- 問11 中部地方の中央部には、標高3000メートル級の険しい山々が連なる3つの山脈があります。これらを総称して「日本アルプス」と呼びますが、その構成として正しい組み合わせを選択肢から選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 石鎚山脈・剣山地・讃岐山脈
 2. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈
 3. 奥羽山脈・出羽山脈・越後山脈
 4. 鈴鹿山脈・紀伊山脈・中国山地
- 問12 愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業
 2. 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
 3. 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業
 4. 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業
- 問13 日本の中央部に位置する中部地方には、標高3,000メートル級の山々が連なる3つの山脈があり、これらは総称して「日本アルプス」と呼ばれます。このうち、最も南側に位置し、険しい地形と多い降水量を活かして古くから林業が盛んに行われてきた山脈の名称として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 赤石山脈
 2. 飛騨山脈
 3. 木曽山脈
 4. 奥羽山脈

答え合わせ・解説

問1	答え 3 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問2	答え 1 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈に囲まれた盆地が点在し、山沿いの扇状地では果樹園が多く見られる	日本の屋根とも呼ばれる中央高地には、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）からなる日本アルプスがそびえ立っています。これらの険しい山々に囲まれる形で長野盆地や甲府盆地などの盆地が点在しています。盆地の縁には、川が山地から平地へ出るところに土砂が堆積してできた「扇状地」が発達しています。扇状地は稲作には不向きな水はけのよい土地であるため、果樹園としての利用が非常に盛んです。日高山脈は北海道、茶の栽培は主に静岡県や鹿児島県、三角州は河口付近の低地であるため、中央高地の説明としては不適切です。
問3	答え 2 公害対策基本法	高度経済成長期に深刻化したイタイイタイ病、水俣病、第二水俣病、四日市ぜんそくの四大公害病を受け、政府は1967年に公害対策を総合的に進めるための「公害対策基本法」を制定しました。なお、1993年には、地球温暖化などの新しい環境問題に対応するため、現在の「環境基本法」へと発展的に解消されています。
問4	答え 4 高速道路などの交通網が整備され、保冷トラック（冷トラック）による迅速な輸送が可能になったため。	高原野菜は鮮度が重要であるため、かつては遠方の市場へ運ぶことが困難でした。しかし、中央自動車道などの高速道路の開通や、低温を保ったまま輸送できるコールドチェーン（保冷配送網）の発達により、大消費地である都市部へ新鮮な状態で大量に届けることが可能になり、産地としての地位が確立されました。
問5	答え 3 土砂の粒が大きく隙間が多いため、水はけが良いから。	扇状地は、山から流れてきた砂や礫（小石）が堆積してできているため、水が地下に浸透しやすく、非常に水はけが良いという特徴があります。この性質は、根が腐りやすく乾燥した環境を好む果樹の栽培には非常に適していますが、一方で水を貯める必要がある水田には不向きであったため、伝統的に果樹園として利用されてきました。
問6	答え 4 京都府	東海道新幹線は岐阜県から滋賀県を通り、近畿地方に入ります。大阪府へ到達する直前には、古都として知られる京都府を通過します。奈良県や兵庫県は近隣の府県ですが、東海道新幹線の路線が直接通っているのは、滋賀県から京都府を経て大阪府へ至るルートです。
問7	答え 2 石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）	中部地方で県名と県庁所在地が異なるのは、石川県、愛知県、山梨県の3県です。石川県は金沢市、愛知県は名古屋市、山梨県は甲府市がそれぞれ県庁所在地となっています。選択肢の中にある輪島市、豊田市、松本市などは各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。特に愛知県や山梨県のように、県名そのものが都市名になっていないケースは入試で頻出となります。
問8	答え 2 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する	松本市のような内陸部の盆地は「中央高地の気候」に分類されます。海から離れているため、比熱の関係で土地が温まりやすく冷えやすい性質を持ち、気温の年較差や日較差が大きくなります。また、周囲を高い山々に囲まれているため、季節風に含まれる水蒸気が遮断され、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。実際に、松本市の統計では1月の気温が氷点下となる一方で、降水量は日本海側や太平洋側と比べて少なくなっています。
問9	答え 2 中京工業地帯	愛知県、岐阜県、三重県に広がるこの地域は、世界的な自動車メーカーの拠点を中心に関連工場が数多く集積しています。機械工業の割合が他の工業地帯と比べても突出して高く、1970年代以降、京浜工業地帯を抜いて日本最大の製造品出荷額を維持し続けています。
問10	答え 3 冬の積雪により屋外での農作業が困難になるため、屋内でできる手仕事が農家の副業として定着したから。	北陸地方は日本海側に位置し、冬には湿った季節風の影響で世界でも有数の豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって田畑での耕作が不可能になるため、農家の人々は家の中で行える漆器や織物などの製造を副業として行いました。これが現代に伝わる輪島塗や加賀友禅といった伝統的工芸品の発展につながりました。
問11	答え 2 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈	中部地方に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、日本でも有数の高さを誇る山々が連なっているのが特徴です。これらは北から順に並んでおり、明治時代にイギリス人宣教師ウエストンらによって、その壮大な景観から「日本アルプス」と名付けられました。東北地方を南北に貫く奥羽山脈など、他の地域の山脈と混同しないように注意が必要です。
問12	答え 2 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業	愛知県では高度経済成長期以降、産業構造が大きく変化しました。1960年頃はせんい工業などの軽工業も一定の割合を占めていましたが、その後、豊田市周辺を中心に自動車産業（輸送用機械）が圧倒的な成長を遂げました。その結果、事業所の集約化が進み数は減ったものの、機械工業の生産性が飛躍的に向上したことで、製造品出荷額は30兆円を大きく超える規模に達しています。
問13	答え 1 赤石山脈	赤石山脈は「南アルプス」とも呼ばれ、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）とともに日本アルプスを構成しています。太平洋に近い場所に位置するため、湿った空気の影響で降水量が多く、豊かな森林資源を背景とした林業が地域の伝統的な産業となっています。

- 問1 木曽川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. シラス台地 3. 輪中 (わじゅう) 4. 扇状地 (せんじょうち)
-
- 問2 中部地方における発電所の分布を示した資料において、伊勢湾や太平洋の沿岸部に集中している発電所と、福井県の若狭湾沿いや静岡県の海岸沿いに点在している発電所の種類について、正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 伊勢湾などの沿岸部には山地から流れる水を利用する水力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には火力発電所が配置されている。 2. 伊勢湾などの沿岸部には原子力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には輸入燃料を効率よく活用する火力発電所が配置されている。 3. 伊勢湾などの沿岸部には広大な土地を利用する太陽光発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には大規模な水力発電所が配置されている。 4. 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には原子力発電所が配置されている。
-
- 問3 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 香川用水 2. 豊川用水 3. 明治用水 4. 愛知用水
-
- 問4 中部地方各県の農業産出額の内訳を示した統計において、愛知県や長野県、静岡県などでは、産出額が最も多い上位品目の割合がいずれも全体の50パーセントに満たないという特徴が見られます。このような統計から読み取れる、これらの県における農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. 特定の作物のみを大規模に生産するモノカルチャー経済が確立されている 2. 農業従事者の高齢化により、主要な品目の産出額が平均的に減少している 3. 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている 4. 地形や気候の制約により、生産できる農作物の種類が極めて限定されている
-
- 問5 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機で風を霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。
-
- 問6 長野県では、かつて盛んだった製糸業に代わり、第二次世界大戦後、時計やカメラなどの生産が急速に発展しました。これらの製品は、高度な技術を要するとともに、内陸部の清浄な空気や水といった環境条件を活かして作られます。このような工業の種類を何と呼びますか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 精密機械器具 2. 一般機械器具 3. 電気機械器具 4. 輸送用機械器具
-
- 問7 日本の公害の歴史をまとめた資料において、富山県で発生したイタイイタイ病の発生メカニズムを説明する文として、最も適切なものはどれか。なお、この公害は神通川流域で発生したものである。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 自動車の排気ガスに含まれる窒素酸化物が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし、目やのどに刺激を与える霧状の物質を発生させた。 2. 化学工場の排水に含まれていた有機水銀が魚介類に蓄積され、それを摂取した人々に手足のしびれなどの神経症状を引き起こした。 3. 鉱山から排出されたカドミウムが川を汚染し、その水を用いた農業や飲用を通じて体内に蓄積し、骨がもろくなるなどの被害をもたらした。 4. 石油コンビナートの工場群から排出された亜硫酸ガスが原因で、周辺住民に激しいせきやぜんそくなどの呼吸器系疾患を多発させた。
-
- 問8 長野県などの中央高地では、標高が高い地域の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの生産が盛んに行われています。平地の出荷時期が過ぎた夏から秋にかけて出荷時期を遅らせるこの栽培方法の名称として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 二毛作 2. 近郊農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培
-
- 問9 日本の諸地域の産業と貿易港の関係について述べた文章のうち、名古屋港の特徴を正しく説明しているものを選んでください。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 鉄鋼業や化学工業などの基礎素材産業の拠点として発展したため、鉄鋼製品の輸出が過半数を占め、原料の輸入も盛んである。 2. 首都圏に位置する貿易の拠点で、輸出額では自動車が入位に入るが、輸入額が輸出額を上回っており、電子機器の輸入も多い。 3. 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。 4. 航空貨物の取扱額が日本一の拠点で、IC (集積回路) や医薬品などの、軽量で高価な製品の輸出に特化している。
-
- 問10 静岡県などの茶の栽培地域において、高いポールの上に扇風機が設置された「防霜ファン」という設備が導入されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 地表付近の湿った空気を上空へ拡散させ、茶の葉がカビによる病気になるのを防ぐため。 2. 人工的な風によって茶の葉を揺らし、光合成を活発にさせることで収穫量を増やすため。 3. 強い風を茶の葉に直接当てることで、害虫の付着を防ぎ、農薬の使用量を減らすため。 4. 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。
-
- 問11 長野県の野辺山原など、標高の高い地域で行われている農業について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。 2. 温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用して、他の地域よりも収穫時期を早めて出荷する農業。 3. 大消費地である都市の近くで、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜や花を栽培し、出荷する農業。 4. 同じ耕地で、一年のうちに米と麦など、二種類の異なる作物を時期をずらして栽培する農業。
-
- 問12 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため 2. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため 3. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため 4. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 輪中（わじゅう）	濃尾平野の下流域は海拔が低く、三つの大きな河川が合流・分岐を繰り返すため、古来より洪水が多発する地域でした。住民は自らの居住地や田畑を水害から守るため、集落の周りをぐるりと堤防で囲む「輪中」を形成しました。これは地形的制約を克服するための生活の知恵として知られています。
問2	答え 4 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県 of 沿岸部には原子力発電所が配置されている。	愛知県や三重県に面する伊勢湾周辺は中京工業地帯などの大規模な工業エリアや大都市があるため、燃料の輸入に便利で大量の電力を安定して供給できる火力発電所が沿岸部に集中しています。また、原子力発電所は大量の冷却水を確保するため、福井県の若狭湾沿いや静岡県の御前崎付近などの海岸沿いに設置されています。
問3	答え 2 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問4	答え 3 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている	中部地方の多くの県では、平野部での稲作に加え、高冷地での野菜栽培、扇状地での果実栽培、都市近郊や山間部での畜産など、多様な地形や気候条件を活かした農業が行われています。そのため、一つの品目に依存するのではなく、農業産出額の上位品目が多岐にわたっており、産出額の構成における多様性が高いことが特徴です。
問5	答え 4 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がることがあります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問6	答え 1 精密機械器具	長野県は、諏訪盆地を中心に時計やカメラなどの「精密機械器具」の製造が盛んです。これらは小型で高付加価値な製品であるため、輸送コストが抑えられる内陸部での生産に適しています。また、塵の少ない空気や豊かな水といった自然環境も、精密な組み立て作業に有利に働きました。愛知県の主力である自動車などの輸送用機械器具と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 3 鉱山から排出されたカドミウムが川を汚染し、その水を用いた農業や飲用を通じて体内に蓄積し、骨がもろくなるなどの被害をもたらした。	イタイイタイ病の原因物質はカドミウムです。上流の三井金属鉱業神岡鉱山から流出したカドミウムが神通川を汚染し、その水で育った米や飲料水を摂取した住民が骨折しやすくなるなどの深刻な健康被害を受けました。選択肢にある有機水銀は水俣病の原因であり、亜硫酸ガス（二酸化硫黄）は四日市ぜんそくの原因です。
問8	答え 4 抑制栽培	夏でも涼しい高原の気候を活かし、他の地域での収穫が難しい時期に野菜を栽培して出荷する仕組みです。これにより、市場での供給が少ない時期に高い価格で販売することが可能になります。宮崎県や高知県で行われる、温暖な気候を利用して出荷を早める「促成栽培」と対比して理解することが重要です。
問9	答え 3 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。	名古屋港の最大の特徴は、背後に控える中京工業地帯、特に愛知県内の自動車産業との密接な結びつきです。完成した自動車だけでなく、その部品やエンジン（内燃機関）といった関連製品を合わせると、輸出全体の約4割に達します。このような特定の産業に特化した大規模な輸出構造が、日本一の貿易額を支える要因となっています。
問10	答え 4 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。	4月上旬などの春先は、茶の柔らかい新芽が芽吹く時期ですが、夜間に地表の熱が奪われる「放射冷却」が起きると、地表付近の温度が下がって霜が降りることがあります。新芽が霜に当たると枯れてしまい、品質や収穫量に大きな影響が出るため、地上数メートルの高さにある比較的暖かい空気をファンで地表に送り込み、茶畑の温度を下げないように工夫されています。
問11	答え 1 標高が高く夏でも涼しい気候を利用して、レタスなどの高原野菜を栽培し、平地の出荷が減る時期に市場へ送る農業。	長野県の野辺山原は標高が1000mを超える高冷地であり、夏でも平均気温がレタスの生育に適した15度から20度程度に保たれます。この涼しい気候を活かして、平地では暑すぎて栽培が難しい夏から秋にかけて野菜を収穫し、出荷時期を遅らせる「抑制栽培」が行われています。これにより、都市部での供給が不足する時期に高い価格で販売することが可能になります。
問12	答え 4 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 愛知県	愛知県の農業は、特定の品目に偏らず、野菜、畜産、花きなど多様な品目を組み合わせて生産しているのが特徴です。特に野菜の出荷額は全国トップクラスであり、キャベツやブロッコリーなどが有名です。選択肢にある新潟県は「米」、和歌山県は「果実」の産出額割合が非常に高いことで知られており、愛知県の統計的な特徴とは異なります。
問2	答え 4 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的に少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。
問3	答え 3 冬の積雪期における農家の副業として始まり、現在は多くの小規模な工場が工程を分担する分業体制によって支えられている。	鯖江の眼鏡産業は、雪深い冬の時期に収入を得るための副業として始まりました。この産業の特徴は、一つの製品を完成させるために、部品作り、研磨、メッキ、組み立てといった各工程を専門の工場が担当する「分業体制」が確立されている点にあります。この仕組みにより、職人の高度な技術を維持しながら効率的な生産が可能になっています。
問4	答え 2 茶畑	静岡県は日本有数の茶の産地であり、島田市の権現原周辺のような台地や斜面では、茶の栽培が非常に盛んです。地形図上では、茶の実を半分に切った形を記号化した「茶畑」の地図記号（3つの点が集まった形）が広く分布しています。一方、リンゴやミカンなどの果樹園や、稲作を行う水田とは記号が明確に区別されています。
問5	答え 4 避難場所の位置や、そこへ至るまでの具体的な避難方向	ハザードマップの目的は、被害の予測を伝えることだけではなく、実際の避難行動を支援することにあります。そのため、どこが危険かという「浸水想定区域」の情報に加え、どこへ逃げるかという「避難場所の位置」、そしてどのルートを通るべきかという「避難方向」をセットで提供することが、防災情報の充実において極めて重要です。
問6	答え 1 石川県	石川県は加賀平野を中心に稲作が盛んであり、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて高いのが特徴です。一方、長野県は果実や野菜、愛知県は野菜や花き、岐阜県は畜産や野菜の割合がそれぞれ高くなっており、統計上の数値から各県の農業の特色を判別することができます。
問7	答え 3 輪島塗	石川県輪島市で生産される輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。北陸地方の湿潤な気候は漆の乾燥に適しており、古くから地場産業として発展してきました。福島県の会津塗、岩手県の南部鉄器、京都府の西陣織といった他の地域の伝統産業との違いを区別することが重要です。
問8	答え 2 周囲より一段高い平坦な地形で、水はけが良く、機械による効率的な作業に適しているため	牧之原台地のような平坦な台地は、茶摘み機などの大型機械を導入しやすいため、大規模かつ効率的な農業経営が可能です。また、台地は一般に水が得にくく稲作には向きませんが、茶の栽培には適した水はけの良い土壌条件を備えています。
問9	答え 2 ファインセラミックス	陶磁器の原料を精製し、焼き固める伝統技術を高度化させることで、熱や摩耗に強く、電気を通しにくいなどの性質を持つファインセラミックスが開発されました。瀬戸市や近隣の多治見市などでは、この技術を活かした先端産業が盛んです。
問10	答え 2 山梨県 - 甲府市	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた内陸県の一つです。県庁所在地の甲府市は甲府盆地に位置しており、この地域ではぶどうや桃などの果樹栽培が非常に盛んです。静岡県も富士山に面していますが、内陸県ではないためこの条件には当てはまりません。
問11	答え 3 冬の積雪の影響で農作業が難しい時期があるが、春の豊かな雪解け水を利用した稲作が盛んで、銘柄米の産地として知られる。	北陸地方は日本海側特有の気候により、冬に多くの積雪があります。この積雪は、冬の間の耕作（裏作）を困難にする一方で、春には豊かな雪解け水として水田を潤す水源となります。そのため、古くから稲作の単作地帯として発展してきました。現在では「コシヒカリ」に代表される銘柄米の生産に力を入れ、日本有数の「米どころ」としての地位を確立しています。他の選択肢については、大規模な畑作・酪農は北海道、近郊農業は関東地方、畜産は九州地方（特に南九州）の特色を述べたものです。
問12	答え 1 輪島塗・加賀友禅	石川県は北陸地方に位置し、冬季の降雪が非常に多い地域です。この地域では、輪島塗（漆器）や加賀友禅（染色）といった高度な技術を要する伝統的工芸品が発達しました。これらは気候条件を背景とした歴史的な産業であり、現在も地域の重要な産業となっています。
問13	答え 3 北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため	日本の冬には、シベリア高気圧から大陸の冷たく乾いた北西の季節風が吹きます。この風が暖かい日本海の上を通る際に水蒸気を蓄え、日本の脊梁山脈にぶつかることで上昇気流が発生し、日本海側に位置する上越市などに大雪（降水）をもたらします。
問14	答え 2 標高が高い地域の冷涼な気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。	長野県では、夏の涼しい気候を利用して出荷時期をずらす野菜の抑制栽培（高原野菜）が行われています。また、傾斜地は水はけが良いため果樹園に適しており、リンゴなどの栽培に利用されています。このような自然環境に合わせた適地適作が行われていることが、農業産出額の構成に反映されています。

- 問1 ある都道府県の統計において、米の産出額が約194億円であるのに対し、野菜が約643億円、果実が約298億円と農業産出額が全体的に大きく、さらに漁業産出額も約551億円という非常に高い水準にある自治体として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 静岡県 2. 山梨県 3. 大阪府 4. 新潟県
- 問2 富山県の山岳地帯には、黒部峡谷に代表される深い渓谷や火山活動による湖など、豊かな自然景観が見られます。これらの地域が指定されている国立公園の名称として正しいものを選択してください。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内海国立公園 2. 中部山岳国立公園 3. 十和田八幡平国立公園 4. 阿蘇くじゅう国立公園
- 問3 日本の気候区分のうち、1月の最低気温が2度前後まで下がり、冬の降水量が夏の約2.6倍に達するような、冬に降水が集中する特徴を持つ気候帯はどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 日本海側の気候 4. 中央高地の気候
- 問4 日本の北陸地方では、江戸時代から続く技術を継承した伝統的工芸品が多く生産されています。石川県において生産されている伝統的工芸品の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 越前漆器・越前和紙・輪島塗 2. 輪島塗・越前和紙・九谷焼 3. 輪島塗・加賀友禅・九谷焼 4. 高岡銅器・加賀友禅・山中漆器
- 問5 石川県金沢市において、江戸時代から続く伝統的工芸品である加賀友禅の生産が、現在も受け継がれている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため 2. 明治時代に官営模範工場が設置され、西洋の技術を取り入れた機械化が急速に進んだため 3. 北陸新幹線の開通に伴い、観光客向けのお土産として近年になって新たに開発されたため 4. 日本海側の湿潤な気候を利用して、原料となる綿花の栽培が江戸時代から盛んに行われていたため
- 問6 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といいますか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 中央高地の気候 4. 日本海側の気候
- 問7 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため 2. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため 3. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため 4. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため
- 問8 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。 2. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。 3. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。 4. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。
- 問9 日本の主な工業地帯・地域における製造品出荷額の割合を示した統計において、機械工業が全体の約7割という突出した高さを示し、特に輸送用機械の製造が中心となっている工業地域はどこですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 北九州工業地域 2. 阪神工業地帯 3. 瀬戸内工業地域 4. 東海工業地域
- 問10 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。 2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。 3. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発達し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。 4. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集团的に立地している。
- 問11 中部地方は、地形や気候の特色からさらに3つの地域に細分されることがあります。愛知県や名古屋市が含まれる、太平洋に面した地域の名称として適切なものを選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 東海 2. 山陰 3. 中央高地 4. 北陸
- 問12 日本の農業産出額の構成を示した統計において、米の産出額に比べて、野菜と果実の産出額が非常に高い割合を占めている内陸の県があります。この県で行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている 2. 都市近郊の立地を活かして、新鮮な野菜を素早く消費地へ届ける近郊農業が行われている 3. 広大な平野と豊富な水資源を活かして、単作による大規模な稲作が行われている 4. 温暖な気候を活かして、冬でも温暖な時期に野菜を早く育てる促成栽培が行われている
- 問13 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。 2. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。 3. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。 4. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。
- 問14 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 4. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機で風を霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 静岡県	静岡県は、温暖な気候を利用した茶やみかん、温室野菜などの栽培が盛んで、農業産出額において高い数値を誇ります。これに加えて、駿河湾などの豊かな漁場や、焼津港といった全国有数の水揚げ量を誇る漁港を有しているため、漁業産出額も他県に比べて極めて大きいという特徴があります。
問2	答え 2 中部山岳国立公園	富山、新潟、岐阜、長野の4県にまたがる飛騨山脈（北アルプス）を中心とした地域は、中部山岳国立公園に指定されています。この公園内には、河川の浸食によって形成されたV字谷である黒部峡谷や、火山活動によってできたミクリガ池などの美しい景観が広がっています。
問3	答え 3 日本海側の気候	日本海側の気候は、北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から1月にかけての降水量（降雪量）が非常に多くなるのが最大の特徴です。提示された統計情報の通り、夏の降水量が150mm程度であるのに対し、冬の降水量が400mmに達する傾向は、太平洋側の「冬に乾燥し晴天が続く」特徴や、瀬戸内の「年間を通じて降水量が少ない」特徴とは明らかに異なります。
問4	答え 3 輪島塗・加賀友禅・九谷焼	石川県には、能登地方の輪島塗、金沢周辺に加賀友禅や金沢箔、九谷焼、加賀地方の山中漆器など、数多くの伝統的工芸品が集中しているのが特徴です。選択肢に含まれる越前漆器や越前和紙は福井県、高岡銅器は富山県を代表する伝統的工芸品であり、県ごとの産地の違いを整理しておくことが重要です。
問5	答え 1 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため	江戸時代の加賀藩は、武力よりも学問や産業、特に工芸の振興に力を注ぐ政策をとりました。藩が設置した御細工所などを通じて全国から優れた職人を招き、手厚い保護を加えたことで、加賀友禅や金沢箔、九谷焼といった高度な伝統技術がこの地に定着し、現代まで続く産業の基盤が築かれました。
問6	答え 3 中央高地の気候	周囲を山に囲まれた地形では、海からの湿った空気がさえぎられるため、年間を通して降水量が少なくなります。また、内陸部に位置するため、夏は気温が非常に高くなり、冬は氷点下まで下がるなど、気温の年較差（気温差）が大きくなるのが特徴です。
問7	答え 2 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一部を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。
問8	答え 3 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。	木曽山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
問9	答え 4 東海工業地域	東海工業地域は、中京工業地帯と隣接していることから、自動車部品などの輸送用機械の製造が極めて活発です。出荷額の内訳において機械工業が占める割合が非常に高いことが統計上の大きな特徴です。一方、瀬戸内工業地域は化学や鉄鋼の割合が高く、阪神工業地帯は金属や機械のバランスがとれていますが、機械の割合は東海ほど極端ではありません。
問10	答え 4 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問11	答え 1 東海	中部地方はその範囲が広いため、日本海側の「北陸」、標高の高い山々が連なる内陸の「中央高地」、太平洋側の「東海」の3つに区分されます。愛知県は静岡県や岐阜県（南部）とともに東海地域に分類され、中京工業地帯の中心地として発展しています。
問12	答え 1 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている	長野県は内陸の厳しい気候や標高差を活かした農業が特徴です。特に夏の涼しさを利用して、平地での収穫が少なくなる時期にレタスなどの野菜を出荷する「抑制栽培（高原野菜の栽培）」が行われており、これが高い野菜産出額につながっています。選択肢にある「単作による大規模な稲作」は新潟県などの特色、「促成栽培」は高知県や宮崎県などの特色、「近郊農業」は千葉県や埼玉県などの特色です。
問13	答え 2 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風はもともと乾燥していますが、対馬海流（暖流）が流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈にぶつかって上昇し、冷却されることで日本海側に多量の雪を降らせます。これに対し、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問14	答え 1 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がる場合があります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。